

# 医療や福祉 人材育成

赤磐市と川崎学園

## 包括連携協定を締結

赤磐市と学校法人川崎学園（倉敷市松島）は21日、医療や福祉分野の人材育成などで協力する包括連携協定を

協定を結び握手する川崎理事長（左）と友実市長

赤磐市と学校法人川崎学園との  
包括連携協定締結式



結んだ。

協定は、地域の医療、保健、福祉の充実▽災害時の支援▽学園運営

の大学や病院が持つ専門知識を生かした地域振興―など6項目。看護師や保育士の地元定

着を狙いに、市が学生の研修を受け入れたら、医師らが市内で公開講座を開いたりすることなどを想定している。

市役所で締結式があり、友実武則市長と川崎誠治理事長が協定書に署名。友実市長は「医療の担い手確保や市民の健康づくりを進める上で心強い」、川崎理事長は「赤磐市から入学してくる学生も多い。地域に根差した人材を育て、医療福祉の発展に貢献したい」と話した。

同学園が県内の自治体と協定を結ぶのは、倉敷、備前市などに続き5市目。

（伊東圭一）